

第2期軽米町子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメントの概要と町の考え方

| No. | 意見の概要 | 町の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | 入所児童数にせずに、各施設ごとの利用児童数で表した方がわかりやすいのではないか。 | この表の目的は町全体の年齢別入所児童数の推移を把握するために作成した表となっています。 今回のご意見は今後の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 放課後児童クラブ、放課後子供教室は今後ニーズに応える為、職員の資質向上の為の研修の機会を用意し、また教室に参加する児童子どもの人数に合った職員数の配置やスペースの確保をきちんとやって欲しい。 | 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準(平成 26 年厚生労働省令第 63 号)に基づいて運営しています。また、職員の資質向上へ向け日程調整のうえ各種研修会へ参加している状況です。 今回のご意見は今後の運営の参考とさせていただきます。 |
| 3 | 子育てにかかる出費がかさむこと（23.4%）、この項目を細分化し、掘り下げた内容で設問にし、現状の悩みがわかるのではないか。 | ニーズ調査については、昨年度の実施であり、いただいたご意見は次回調査する際の検討項目とさせていただきます。 |
| 4 | アンケートで食事、栄養に関すること 23.4%、子育てにかかる出費について 23.4%、病気・発育・発達に関すること 22.8%と出ていましたが、今はいろいろな出来合いのものもたくさん出て活用出来ると思うけど、やはり自分の子には自分で作ったおいしくて、愛情たっぷりで安心安全な食事を作ってあげたい！！そう思っている親の為に、食事作り、栄養講座なるものを開講して欲しいと思う。 | いただきましたご意見は、関係機関等と調整、連携し今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。 |
| 5 | 子育て支援の環境や支援の満足度の表から、子育て中の親が軽米の子育て環境に満足していないという数値が出ているのをみて、その通り。子育て日本一の軽米町としては、この数値を今後の取り組みにいかしてほしい。この数値は、子供を産み育てようとする若い親達のさけびに聞こえる。対策を急がなければならないと思う。子育て日本一をさけび続けて、この結果はお粗末です。 | 平成 27 年度より子ども・子育て支援事業計画を基に子育て支援の充実に取り組んで参りましたが、今回のニーズ調査の結果、ご指摘のあったことを真摯に受け止め、今後、町民のみなさまのご理解が得られるよう更なる子育て支援事業の充実に努めてまいります。 |
| 6 | 評価すべきは、何回やったかではなく、それをやることで、どう子供達の健やかな成長につながったかをきちんと検証すべきではないのかなと思いました。 | 地域子ども・子育て支援事業は子ども・子育て家庭等を対象とする事業として、市町村子ども・子育て支援事業計画に従って、評価し実施した事業となっております（子ども・子育て支援法第 59 条）。この |

| | | |
|----|--|---|
| | | <p>事業は国又都道府県は同法に基づき、事業を実施するために必要な費用に充てるため、交付金を交付することができ、費用負担割合は国・都道府県・市町村それぞれ 1/3 となっていることから実施状況を示しました。</p> <p>ご指摘のありましたとおり、事業を評価し、見直しを図りながら事業を実施して参ります。</p> |
| 7 | 子ども・子育て環境の整備—保護者の学習の場は絶対に必要です。 | <p>保護者の学習の場として、今年度設置した子育て世代包括支援センターにおいてペアレントトレーニング研修を実施したところであり、今後も継続して参ります。</p> |
| 8 | 基本理念は、とても良いです。 | <p>基本理念の達成に向けて事業の推進に努めて参ります。</p> |
| 9 | <p>近年はお父さんも積極的に子育て参加してくれる方が多くなっていると感じます。とても良い事だと思います。それでもまだまだ女性に負担が多い方がたくさんいます。どんどん男性も子育てに参加しやすい環境を作って欲しいです。それには職場の意識改革、上司の意識改革は不可欠。もちろんお父さん本人の意識改革も含め、男性の子育て参加について、話し合える場の設定、環境作りをお願いします。</p> | <p>計画の中で、仕事と子育ての両立を目指す環境の整備で父親の育児参加について一部記述しているところですが、話し合える場の設定や環境作り等についてのご意見は今後の子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p> |
| 10 | <p>認定こども園が明記されているが、認定こども園は町長決裁で決めたものか、議会にあげてからなのか、専門的なことはわからないが、委員の方も認め表記したのか疑問に思う。こども園、保育園、へき地保育所、児童館が称号。</p> <p>1号認定、2号認定との区分も理解し、審議していたのか。委員の名簿をみて、審議されるのか、軽米の第2期軽米町子ども・子育て支援事業計画（案）が本来の主旨を語れるか疑問に思う。</p> | <p>認定こども園については、以前から検討されてきているところではありますが、幼稚園の児童数の急激な減少に伴い、今年度、教育委員会と具体的に協議、検討をしたところでもあります。その結果、5年以内（令和3年度）に開設する可能性があることから、その経過等を委員へ説明したうえで、明記したところでもあります。</p> <p>また、審議にあたっては事前に資料を送付し、内容を把握したうえで子ども・子育て会議において審議してきたところでもあります。</p> |
| 11 | <p>今年めごかるが開設され、親が学ぶ場として5回開催されたみたいですが、こういう学びの場を継続して続けて欲しいし、こういう子育てに前向きな親達の横のつながりを作り、集まった時にいろいろな子育てに</p> | <p>今年度設置した子育て世代包括支援センターにおいて、ペアレントトレーニング研修を実施したところでもあります。</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | <p>についての悩みやノウハウを情報交換して欲しい。誰でも自分が知りたいと思わないと中々大事なこと、タメになることを聞いても自分のものにならないし、皆が集まって共に気付いたり、悩みを聞いて貰って、気が晴れたり、いろいろ周りから学ぶ事が多いと思う。</p> | <p>ご意見のあったとおり、親が学ぶ場の必要性を理解し、今後も継続して実施して参ります。</p> |
| 12 | <p>乳児家庭全戸訪問について、大変良いことだったと思う。ただ1回で終わったのが残念。それを機に顔見知りになり、いろいろな事を話しやすい体が出来、放っておいても親の方からTELでも何でも相談に来たり、話してくれるようになると思うので。更にそこから親同士の横の結びつきを作ってやったら大変心強いし、勉強になると思うので。</p> | <p>乳児家庭全戸訪問事業については、全戸訪問を実施したうえで、必要に応じて養育支援訪問事業として支援していくケースもあります。今後も支援体制を継続して参りますが、いただきましたご意見を参考に保護者同士の繋がりについて、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| 13 | <p>放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について、現在の場所、環境が適切であるかという点からも、手狭であり構造上の観点から、安全対策の上で、侵入者の状況がわかりづらい。避難経路も安全性に欠ける。利用登録児も60人以上。長期間の休みには、ふくれあがる状態。公共施設や小学校の余裕教室を利用し、適切な遊び及び生活の場を与えるところがあるが、健全な育成がはかれるのか疑問です。</p> | <p>ご指摘のとおり現在の建物は、児童クラブとして利用する設計ではない建物となっております。安全対策として、階段の転落防止柵設置などの施設改修をしており、施設管理者である教育委員会と協議をしながら、改善に努めているところであります。計画的に避難訓練を実施しており、職員の役割分担、児童の避難経路や連絡体制の確認などの対策を期しているところでございます。</p> <p>今後の利用児童数の推移をみながら、必要に応じ開設時間の延長や遊休施設の活用を含め新たな施設整備についても検討してまいります。</p> |
| 14 | <p>コロナウイルスで学校休業のため、学童が狭い場所で寿司詰め状態なのはと心配しています。</p> | <p>新型コロナウイルス対策に伴う小学校の臨時休業を受け、午前中から開所しておりますが、利用児童数については、当初の想定より少数で推移しているところであり、幸いご心配いただいた状態とはなっていない状況です。今後、早期の状況把握に努め、ご心配いただいている状態とならぬよう努めて参ります。</p> |
| 15 | <p>多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業に対する考え方について、あくまでも町独自で、行政がやってこそ、子育て日本</p> | <p>今後の教育・保育ニーズの状況の把握に努め、ご意見等を参考に事業展開を進めて参ります。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | <p>一といえるのではないか。「現在の施設のみで対応が難しい場合には、多様な事業主体による運営も含めて検討します。」とあるが、最後まで行政は町民の最後の砦となるべきです。町の事業の優先順位をはっきりさせ、取り組むことが大切。</p> | |
| 16 | <p>認定こども園の普及について、計画していることを町民の一人として、昨年11月に知る機会がありました。説明が足りないこと、幼稚園の父母の声を吸いあげているとは思えない。予定の通り、粛々と進めているようだ。議員方への説明にも話し合う場（軽米町の幼児教育、保育のあり方等々、少数児童の現実を踏まえての）軽米町の現実を知り、保護者の意向も入れた場を設定し、それが民意を反映させた町づくりであり、透明性ある行政の姿勢だと思う。アンケートもとらず、役所本意のやり方には、残念でならない。</p> | <p>認定こども園については、以前から検討されてきているところではありますが、幼稚園の児童数の急激な減少に伴い、今年度、教育委員会と具体的な協議、検討をしたところでもあります。その結果、5年以内（令和3年度）に開設する可能性があることから、その経過等を委員へ説明したうえで、明記したところでもあります。</p> <p>認定こども園の設置に向けては、これまで、保護者の方々等へ数回説明をしてきたことですが、今後とも、保護者の方々をはじめ町民の皆さまへの理解を得ながら検討して参ります。</p> |
| 17 | <p>保育上、教職員の意見交換の場が必要である。実際にこの事業は、軽米町の子供を育てる上では必要なことと思う。子どもの相互理解の上でも、実施してほしい。</p> | <p>乳幼児期の発達には連続性を有していることから、保育園、幼稚園と小学校との連携は大変重要となります。現在も職員間の情報共有等は実施しておりますが、いただきましたご意見を参考に、意見交換の場を積極的に設けるよう努めて参ります。</p> |
| 18 | <p>母子健康手帳交付時に交付する「パパ子育て手帳」パンフレットが軽米町独自の物でないことが残念です。アンケートでもあったように、男性が職場で育休をとりづらい雰囲気があったという数字もはっきりと出ているので、計画だけで終わらないように社会全体の取り組み、せめて町の企業や組織に行政から我が町は…と子ども子育ての応援をしていることをPRすること、例えば、文章、ポスター、保護者であることへの理解を求める活動し、まさに子育てしやすい町づくりにつなげていたと、PDCAの確立と思う。</p> | <p>ご指摘のありました「パパ子育て手帳」については、状況を確認しながら改善して参りたいと思います。</p> <p>また、父親が育児休暇等取得しやすい環境づくりに向け、町の企業、関係機関と連携を図りながら取り組んで参ります。</p> |

| | | |
|----|---|--|
| 19 | <p>軽米町は小中でノーメディアデーを実施していますが、PDCA でこの5年間すべて実施されてきて、今の軽米の子供をとりまく環境です。未来を担う子供達です。一人一人が大切にされ、一人一人が活かされる社会、軽米町であってほしいです。</p> | <p>子どものメディア利用については、全国的な問題となっており、当町においても今回の計画より取組について追加したところがあります。</p> <p>いただきましたご意見は今後の支援施策の参考とさせていただきます。</p> |
| 20 | <p>若いお父さん、お母さん方が、この軽米に希望と自信を持ち、子育てできる環境作り、自然の中にも整備された公園がほしいという声は、軽米町の議会報に毎回のっています。行政は何をみているのか、又、子育て中の親の声に耳をかたむけないのかといつも感じています。私達世代だけでなく、若い要求している世代が話し感じていることです。近隣市町村の公園に行き遊ばせています。ぜひ、公園整備を望みます。</p> | <p>公園の設置については用地の確保等の課題もあり、早急に整備するのは難しい状況であります。しかしながら、ご意見、現在建設が進められている、交流駅（仮）周辺への整備などを検討するほか、既存の児童福祉施設や教育施設、また、遊休施設の有効活用についても関係課を含め検討して参りたいと思います。</p> |
| 21 | <p>小中学生、又、高校生にとっても、自由に出入りできる建物、たまり場、お年寄りだけでなく、子供達が時間過ごし、友達と過ごせる場所が、軽米にはないことも大きな問題です。たとえば、公民館を使用できるような対策が必要です。(図書館は静かに読書、調べ物等のきまりがあります。)</p> | <p>公民館、図書館の利用については、関係課とも協議のうえ、既存の児童福祉施設、教育施設、遊休施設の有効活用についても含め検討して参りたいと思います。</p> |
| 22 | <p>軽米町子ども・子育て会議条例 組織について</p> <p>町長が委嘱するとありますが、委員の方々は専門に子育ての実情について、どれだけ知っていて審議を深めたのかと疑問に思う点もありました。専門的立場からの意見、発言はとても重要です。これから5年間の未来、将来の軽米の子供達、親世代の支援事業です。良い物が出来ること、又、出来ることを望み、パブリックコメントさせていただく機会があったことに感謝いたします。</p> | <p>次回の子ども・子育て会議委員を選定する際にいただいた意見を参考とさせていただきます。</p> |